

平成26年度 業務改善の取組

洲本市立五色中学校

※校内各種業務の協力体制の充実

問題点

- ・校務分掌の業務が特定の教職員に集中し、負担感が大きくなるようにする。
- ・学級担任の事務処理が多く、生徒指導が重なると勤務時間内に事務処理を終了することができない。

改善点

- 1 校務分掌の業務内容について見直し、統合整理し、担当者が偏らないように分担する。
- 2 学級担任の業務内容を学級担任以外の教師も協力できるように、学級事務を分担する。

1 校務分掌の業務内容の検討

校務分掌の業務内容について、各分掌の中で統合できる内容や逆に分業した方が効率の良い内容を検討する。

- 新年度計画の段階で、各分掌で検討する。
- 各業務の分担をなるべく平準化できるようにする。
- 特別委員会の構成メンバーを見直し、できるだけ学年主任、担当部長に偏らないように分担する。

2 学級担任の事務処理の協力体制づくり

学級担任の業務内容を学級担任以外の教師も協力できるよう、学級の事務処理を分担する。

- 学年会議で、学級担任事務の中で協力できる内容を検討する。
- 担任、副担任を基本に学年内で事務処理を分担する。
- 学年主任が学年の教師に呼びかけて、事務処理の大変な時期は協力をお願いするように配慮する。

＜副担任が担当した業務内容＞

- ・ 得点通知表の記載と印刷・ 通知表の印刷・ 各種アンケートの集計作業 等

※部活動指導の実施体制の検討

問題点

- ・ 日常の部活動指導、休日・長期休業中の練習試合など、休みなく活動が続いている。
- ・ 部活動指導に遅くまで取り組むため、生徒の休養や、教員の授業準備、担当業務を行う時間を十分確保できない。

改善点

- 1 部活動の休止日を設定する。
- 2 部活担当者会議を活用して、実現可能な方策について話し合いを行い、改善に努める。
- 3 地域の人材を活用し、指導の効率化と指導時間の軽減化を図る。部活動顧問の複数配置を図る。

1 部活動の休止日の設定

- 次の学校行事や取組がある場合は、できる限り部活動を行わない。
 - ① 定期テストや学力テストの前（本校規定による）
 - ② 職員会議や定例の研修日
 - ③ 町内一斉の行事
 - ④ 参観日などの主な校内行事
 - ⑤ 体育大会や文化祭の前
 - ⑥ その他可能な日
- 部活動動向表（全ての部の活動予定のまとめ）を作成する。
 - ① 各部担当者で連携し動向をそろえるよう配慮する。
 - ② 生徒に配布し周知を図るとともに、保護者への理解を得る。
- 休止日を定時退勤推進日に指定し、行事予定表にも記載して周知徹底を図る。
- 動向表を活用し、定時退勤推進日以外にもなるべく早く退勤できるよう計画的に業務推進にあたるよう意識づける。
- 長期休業期間中は、午前中に部活動を実施し、午後は担当する業務に集中する。

2 部活動終了後の下校時間の厳守

部活終了後、生徒が速やかに下校するよう指導を徹底する。

（取組例）

- ・ 下校時間を知らせるチャイムを流す。・ 校地内の巡視を行う。 等

3 部活担当者会議の活用

- 部活担当者会議の構成員を、部活動担当者・生徒指導担当とし、時間外勤務縮減のための方策等について協議する。
- 時間外勤務縮減強調月間等の設定にあたり、効果的な時期や方法等について協議する。